

南予で働く移住者の心理とは ～南予地域で働く移住者の声～



えひめ地域活力創造センター

意見交換会の開催

1 開催概要

人材不足が深刻化する南予地域において、事業者における人材確保の手段として移住者の雇用を強化するため、南予地域の事業者の協力のもと、事業者の移住者心理を深め、働きやすさを考える意見交換会を開催した。

2 実施内容

第一部 愛媛県の移住施策及び移住者の動向について

第二部 **意見交換「移住者の視点から見た働きやすさとは」**

3 R4、5年度 意見交換会実績

主催：(公財)えひめ地域活力創造センター、共催：愛媛県商工会議所連合会、愛媛県商工会連合会、協力：(一社)えひめ暮らしネットワーク

開催日	開催場所	協力企業（ゲスト）	参加企業
R5.3.20	八幡浜市	イヨスイ(株)	15社／15名
R5.6.21	宇和島市	(株)宇和島プロジェクト	19社／26名
R5.10.20	大洲市	仙味エキス(株)	24社／28名

※えひめ移住コンシェルジュ板垣氏が、県外から移住し、南予事業者で働いているゲストから本音を聞き取り。

南予で働く移住者の声

Q 入社した経緯

Iターン移住者Aさん

- ・地域おこし協力隊の任期が終わるタイミングに、現在の職場の社長から直接声をかけてもらったのが入社のきっかけ。
- ・社長から、直接会社の目標や自分を必要とする旨の話をしてもらえたことが大きい。

Iターン移住者Bさん

- ・就活中に両親から家業を廃業しようと思っている話を聞き、水産関連のインターンシップに参加した。
- ・インターンシップ先から現在の職場を紹介してもらい、継業するまでの期間、修行をしたい思いを社長に伝えたところ、柔軟に受け入れてもらい入社した。

Iターン移住者Cさん

- ・現在の職場の役員と知り合いで、そのつながりで入社した。

Iターン移住者Dさん

- ・民間の求人サイトを通じて新卒採用に応募したのが入社のきっかけ。

Iターン（妻：Uターン）移住者Eさん

- ・妻の実家が大洲市にあり、帰省時に足を運ぶことがあった。その中で、自然に囲まれた中で子育てをしたいと思い移住した。
- ・ハローワークなどで仕事を探していたが、妻の地元ということもあり、妻が現在の職場を見つけてきてくれた。

Iターン移住者Fさん

- ・大学が食品系の学部であったため、食品関連の企業に就職したいと考え、現在の職場を見つけた。
- ・インターンシップをしていることを見つけ、体験・経験したのがきっかけ。
- ・最終的な入社判断には、賞与が高かったことも影響した。

南予で働く移住者の声

Q 南予での暮らしについて

Iターン移住者Aさん

- ・宇和島市は、意外と都会だなと感じた。
- ・気に入っているところは人が少ないところ。地元は人が多く、移動は満員電車で疲れてしまう。宇和島は、ほっとするような感じ。

Iターン移住者Bさん

- ・地元は海に近いことやみかんの産地であることから、宇和島市とすごく似ていると感じている。
- ・新居の引っ越し時に近所の方が手伝ってくれたり、都会にはない人の温もりがある。
- ・私にとっては、第2の故郷として感じている。
- ・職場には移住者が多いため、そのメンバーで宇和島ならではの魚釣りやパラグライダーを楽しんでいる。

Iターン移住者Dさん

- ・入社前から社員の方に田舎であると事前に聞かされていたが、実際には住みやすく生活環境も整っており、少し足を伸ばせば松山市にも行けるのであまり困ったことはない。

Iターン（妻：Uターン）移住者Eさん

- ・川でアユ釣りをしたりと自分も田んぼを手伝いつつ、子供も楽しめる環境がある。
- ・暮らしに豊かさが出てきたと感じている。
- ・都会ほど便利ではないが、良い意味で過ごしやすい環境だと思う。

Iターン移住者Fさん

- ・若い人の遊ぶところは少ないが、釣りやスノーボードなど新しいことにチャレンジできた。
- ・暮らしやすさでいうと不便なところが多いと感じるが、暮らしの豊かさでいうと過ごしやすい。

Iターン移住者Gさん

- ・移住してきた時はどちらかというと不便を感じていたが、暮らしていくとそれも魅力に感じ始めており、特に大洲は川も城もあり、県外出身者からすとポテンシャルが高いように感じる。
- ・地域の方との距離が近く、温かい場所。まちづくり協議会に参加し地域おこしに携わるようになった。

南予で働く移住者の声

Q 職場環境と暮らしの変化

Iターン移住者Aさん

・上司に仕事の提案をしたら、やってみよう！と言ってくれるなど、自分のやりたいことがやりやすい環境。

Iターン移住者Bさん

・入社して気付いたことは、意外と移住者（県外出身者）の方が多いと感じた。
・新卒で不安な中でも周りに助けられ感謝している。

Iターン移住者Cさん

・働く環境としてはアットホームな職場なので、これまで勤務してきた職場の中で一番働きやすい。
・雰囲気も社員同士の住まいが近いこともあり、助け合いながら仕事をされていて自分のような県外からの移住者にも気遣ってくれる優しさを感じる。

Iターン移住者Dさん

・職場環境は、面接で受けた印象と大きなギャップがなかったため良かった。
・入社前は一人暮らしや受け入れてもらえるのかの不安があったが、会社の方が休みの日も交流をしてくれたり、一人暮らしの自分におすす分けをしてくれたり普通の会社にはない温かみを感じる。

Iターン（妻：Uターン）移住者Eさん

・飲食店経営から会社員となり、体力的な余裕が出てきたし、メンタル面も時間に追われるといったこともないため余裕を持てるようになった。

Iターン移住者Fさん

・地元が大好きなため、休日と有休を合わせて毎月帰省しているが、自分の部署は有休をとりやすい環境であり、働きやすい環境だと感じている。

Iターン移住者Gさん

・年末年始、お盆などの休暇では帰省する人もいるため、一般的な休日よりも多く休みを設けてくれている。県外出身者に対して優しいと感じている。
・若い人に対してはチャレンジできる制度もあるため、やりがいがある職場だと思う。
・昔は時代背景もあり残業も多かったが、当時から何か予定があれば、その予定を優先させてくれる。
・県外出身者が多い職場であるため、移住者からすると心強い。

南予で働く移住者の声

Q 人材不足の中で移住者はこういった役割を持てるか？

Iターン移住者Aさん

・別のところで生まれ育った人には別の情報がある。宇和島にはなかった考えを、移住者は生まれ育った環境や経験から提案することができる。

Iターン移住者Bさん

・転職で移住をされた方は、今までの知識や技術を持って移住してくるため、例えば都会の企業の考え方を聞け、発想の転換などにつながる。

Q 移住してから賃金面で苦勞したことはないか？

Iターン移住者Aさん

・他の会社と比べると宇和島市は賃金が低いため、迷った経緯はある。しかし、仕事に対する「やりがい」を選び、入社したため後悔はしていない。

Iターン移住者Bさん

・新卒で入社しているため、比較対象がないため分からない。ただし、欲を言えば、自分が成果を出していても、あまり給料が変わらないので、給料で反映してほしいという思うときがある。

・実際、給料などの待遇面は大切だと思う。私は、地域への思いがあって今の職場で働いているが、同年代は給料を重視しているため、給与水準は引き上げていく必要があるのかなと感じている。

南予で働く移住者の声

Q 移住者目線で事業者にと求めたいこと

Iターン（妻：Uターン）移住者 Eさん

- ・移住は体力を使うし、決断も大変。また、引越しや車の購入などにお金がかかる。住まいも仕事が決まらないと入居ができないなど想像以上に大変だった。もし可能なら、そうしたサポートをお願いしたい。例えば、入社後半年間は車を貸し出してもらえるだけでも移住者は安心できると思う。
- ・南予は通勤に困るため、予め移住者には伝えておく必要がある。駅から15分と書いていてもバスの便が少なく通勤に利用できる便がないこともあった。

Iターン移住者 Fさん

- ・インターンシップは会社のことを知れるきっかけになると思う。